

流山おおたかの森公共施設指定管理者選定に向けての 市場性調査結果報告書

【はじめに】

つくばエクスプレス流山おおたかの森駅北口駅前市有地における「流山おおたかの森駅前市有地活用事業」で整備を予定している多目的ホールの市場性調査を実施しましたので概要を報告します。

今回は基本設計時点での調査であり、今後、実施設計終了後に再度市場性調査の実施検討を行い、調査結果につきましては、今後指定管理者選定の公募条件等に反映させていきます。

【市場性調査の記録】

- ・平成28年5月9日(月)・・・市場性調査の実施を市HPで公表しました。
- ・平成28年5月16日(月)・・・市場性調査の説明会を実施し、8事業者が参加しました。
- ・平成28年6月3日(金)・・・6事業者から企画提案書が提出されました。
- ・平成28年6月17日(金)・・・企画提案書を提出された6事業者に対しヒアリングを実施しました。

【市場性調査結果概要】

(1) 多目的ホールのポテンシャルについて

流山市の文化芸術の振興やコミュニティ活動の新拠点となるようポテンシャルを高く評価する声が多く挙げられました。

(2) ホールの利用想定について

クラシック等の音楽を主に、伝統芸能、落語、演劇、展示会等、多目的な利用で稼働率向上を図る提案がありました。

(3) ホールの人員・経費等について

基本設計を基にホールの運営人数や経費について提案がありました。

(4) 指定管理料算定への要望事項

予測が難しい設備保守費や光熱水費については概算払いの希望や専門人材の確保の必要性等の提案がありました。

(5) ホールの管理運営での工夫について

各事業者から独自のアイデアによる利用率向上策や各種サービスに係る提案がありました。